



宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション
淀川キリスト教病院
Yodogawa Christian Hospital

全人医療

ご自由にお持ち帰りください

特集 総合患者支援センター

- よどきり健康メモ／人間ドック・脳ドックキャンペーン
- ろうけん便り／芋掘りと焼き芋の試食会開催
- 簡単＆ヘルシーレシピ／冬野菜を使ったお餅ピザ
- チャプレン室だより／老健でのチャプレン室の働き
- 登録医紹介／医療法人成仁会 成仁会病院

よどきり 便り

YODOGAWA CHRISTIAN
HOSPITAL NEWS

2023.WINTER

36



理念 全人医療

淀川キリスト教病院の全人医療とは、からだと ところと たましいが一体である人間(全人)に
キリストの愛をもって仕える医療です

薬剤師が安全な手術や治療を支援

入院予定患者さんを対象に入院前に面談を行い、他の医療機関で処方された薬を含めて、服用中の薬や健康食品・サプリメントなどを聞き取ります。近年は、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の

看護師が入院の準備や入院生活について説明

外来診療で入院が決まった患者さんに、看護師が入院準備や入院生活、治療スケジュールについて説明します。また、現在の生活状況をうかがい、介護サービスや福祉制度の利用が必要な場合は、医療ソーシャルワーカー等の専門職と連携します。その他、療養生活の心配事、治療に関する疑問などもご相談ください。

総合患者支援センターの機能は、大きく2つあります。一つが入退院の支援、もう一つが相談窓口です。入退院支援とは、入院が決まった患者さんが、入院生活をイメージでき、できるだけ不安が少なく、安心して入院生活を送ることができるよう、また治療が終われば、元の生活にできるだけ早く戻れるように、入院前からお手伝いすることです。相談窓口については、これまで分かれていた医療相談・医療安全・医療福祉の窓口と、がん相談の窓口が一つになりました。どこに相談してよいかわからないことも、こちらの窓口でおうかがいし、適切な専門スタッフと連携して対応いたします。なお、がん相談については、当院の患者さん以外も利用できますのでお気軽にご相談ください。具体的な支援について以下にご紹介します。

医師事務作業補助者が医師の事務作業をアシスト

医師の指示に基づき、医師事務作業補助者が多

医師は診察、検査、手術、処置に専念

医師はチーム医療の一員として、診断・治療を担います。総合患者支援センターで多職種が専門性を活かして医師の業務をシェアすることで、より診断・治療に専念でき、患者さんにとっても良い影響が得られます。

管理栄養士による栄養管理・栄養指導

入院前面談では、管理栄養士は次の4点を確認します。まず食物アレルギーの有無で、必要に応じてアレルギー除去食に対応します。2つ目は、安全な手術、治療を行えるように現在の栄養状態を確認、管理します。3つ目は、検査値や既往歴（これまでにかかった病気、嘔吐と咀嚼状況の確認です。約100種類ある食事の中から一般食か糖尿病食かなど適した食種を選択してご提供します。4点目は栄養指導で、不安な方に栄養指導をご提案しています。

普及により、薬の名前がわかりづらくなっています。薬剤師が、医師とともに手術・検査の前に中止が必要な薬の確認を行い、患者さんに文書で説明します。

また、聞き取った情報をスタッフと共有し、入院時より、ハイリスク薬（とくに安全管理が必要な医薬品）等の適正な使用に取り組みます。

がん相談支援センターががんの相談に対応

がん相談支援センターも2階から1階へ移転しました。がんに関する相談をお受けしています。「不安で何を相談していいかわからない」「治療について詳しく知りたい」「先生に聞きたかったことが聞けなかった」「セカンドオピニオンについて知りたい」「お金のこと、仕事のこと、生活のことが不安」「緩和ケアについて知りたい」など、どんなことでもご相談ください。寄り添い一緒に考えていきます。電話での相談もお受けしています。

今後さらに機能の充実を目指しています。とくに地域の医療機関や介護事業者の方との連携強化も含めて、体制の整備を図ります。

医療ソーシャルワーカーが退院後の生活を支援

患者さんやご家族が安心して治療を受け、退院後の生活を送れるように、医療ソーシャルワーカーがお手伝いします。医療費等の経済的な問題、リハビリ病院等への転院、一人暮らしの高齢者の退院後の療養先についてなど一緒に考えていきます。また、介護や福祉制度の利用についても、院内の他職種や地域のケアマネジャーと連携して支援します。

職種と連携しながら事務業務を行います。主な業務は、受診される患者さんの対応や入院、手術までに必要な検査オーダーの代行や必要書類の準備などです。



特集

入退院支援や相談窓口が機能を強化して新たにスタート

総合患者支援センター

地域医療連携センターの一角にあった「患者支援センター」が場所を移転し、昨年の12月19日から「総合患者支援センター」に名称を変えてスタートしました。淀川キリスト教病院では、10年以上前から、入院治療を終えられた方が安心して元の生活に戻れるように、全国に先駆け「患者支援センター」を開設し、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、事務スタッフが専門性を発揮しながら連携し、入院が決まった時から支援をしてきました。このたびの「総合患者支援センター」ではその機能をさらに強化し、患者さん・ご家族が、安心して治療を受け、退院後の生活を送れる環境を整えていきます。

よどきり健康メモ ▶ この機会にぜひお申し込みを

人間ドック・脳ドックキャンペーン

自覚症状が表れにくい、そんな病気は少なくありません。
だからこそ、定期的な検診で健康状態をしっかりチェック。
自分の体をしっかり知るのが、健康維持の第一歩です。

皆さんの健康を人間ドックでサポート!!

2023年度4月限定

日帰りスタンダード(バリウム)

通常47,300円が **40,000円**(税込)

日帰りスタンダード(胃カメラ)

通常51,700円が **47,000円**(税込)

好評
受付中

2023年1～3月限定

脳ドックセレクション

通常49,500円が **39,600円**(税込)



検査項目・
オプション検査等の
詳細はこちら→



ご予約
お問い合わせ

06-6324-6530 (健康管理増進センター)

電話受付時間 月～金曜日 8:30～17:00 / 土曜日(第2・第4) 8:30～12:00



ろうけん便り



芋掘りと焼き芋の試食会開催

老健の畑では常にいろいろな野菜を栽培しています。

昨年10月末、毎年恒例の芋掘りを開催しました。参加者は感染対策のため1人ずつ交代しながら作業を行いました。昔農業をされていた方は慣れた手つきでどんどん芋を掘っていかれ大活躍。普段見られないような生き生きした表情をされていました。「たくさん採れた」「大きいね」と皆さん笑顔でした。新型コロナウイルス感染症が始まってから利用者さんはいろいろな制限の中、窮屈な生活を送っています。収穫の楽しさはまた格別で、少しでも気分転換になったのではないのでしょうか。

収穫したさつま芋は2週間以上寝かせ、糖度が上がってきた頃を見計らい、焼き芋にして全員で食べました。自分で掘った方は待ちに待った焼き芋です。皆さん「美味しい。甘い」と大好評。寒くなってきた時期にぴったりのおやつになりました。



淀川キリスト教病院 老人保健施設

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路2-1-41

電話:06-6815-8222(直通) FAX:06-6815-8188

ホームページ <https://www.ych.or.jp/group/rouken/>



総合患者支援センター 施設紹介

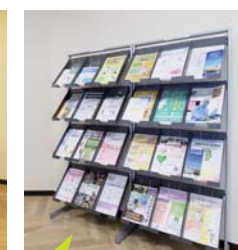
入口

1階エスカレーター奥にあります。

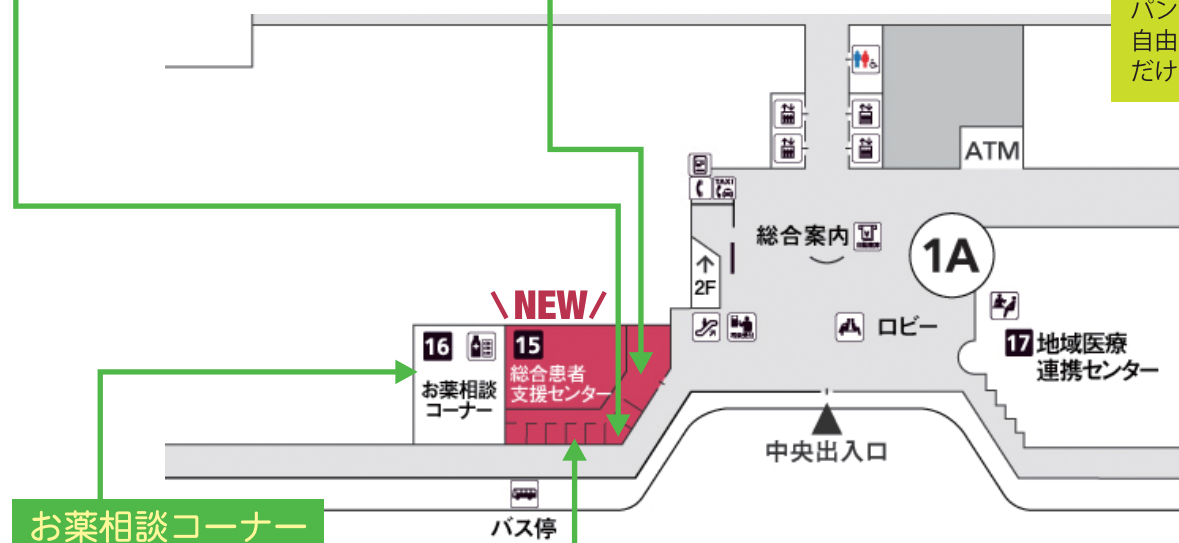


相談窓口

入院前面談は向かって左側、医療相談・がん相談等のご相談は向かって右側にお越しください。医療ソーシャルワーカーや退院調整看護師にご用の方も、こちらにお越しください。



医療情報に関するパンフレットなど自由にお取りいただけます。



お薬相談コーナー

お薬に関する相談は
こちらでおうかがいします。



面談ブース





登録医紹介

淀川キリスト教病院は、かかりつけ医と連携しながら診療を行う「地域医療支援病院」です。

医療法人成仁会 成仁会病院

診療科目／内科・外科・消化器内科・胃腸内科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科・専門外来(循環器内科・呼吸器内科・脳神経内科・整形外科・皮膚科・ピロリ菌外来(自費診療))

成仁会病院は東淀川区で約40年間、地域に根ざした医療を展開されています。病床数約60床を有し、外来・入院・訪問診療で患者さんに寄り添っていらっしゃいます。

―診療科に加え検査も充実されています。

一般内科や外科、消化器内科、リハビリテーション科、放射線科などの他に、循環器内科や呼吸器内科などの専門外来も設け診療しています。また、胃カメラや大腸カメラ、超音波検査はもちろん、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)、胃瘻カテーテル交換、嚥下内視鏡検査、骨塩定量検査、そして80列マルチスライス型のCT検査など検査内容も充実させ、早期発見に努めています。

―地域包括ケアシステムを具現化されています。

はい。成仁会グループは2020(令和2)年5月にサービス付き高齢者向け住宅「シンフォニア豊里」を開設いたしました。この施設で、当院は医療面から入居者さんを支えるために訪問診療を行い、もし入院が必要となれば主治医が代わることなく入院治療を行っています。

―メッセージをお願いします。

地域住民の皆さんにとっての身近なかかりつけ医でありたいと思っています。まずは気楽にご受診ください。



えん どう よし ひこ
遠藤 義彦 理事長(写真左から1番目)

えん どう ぶん じ
遠藤 文司 院長(写真左から4番目)



医療法人成仁会 成仁会病院 シンフォニア豊里



〒533-0013 大阪市東淀川区豊里7-19-27
TEL.06-6327-7765

アクセス:Osaka Metro今里筋線
「だいどう豊里」駅より徒歩3分

ホームページ <https://www.sejinkai-gr.jp/>

Topics 消化器がん治療のご紹介

消化器がんは、食道や胃、大腸、肝臓、すい臓、胆道などの消化器にできるがんの総称です。

淀川キリスト教病院では、大阪府がん診療拠点病院として高度な医療を実施。消化器外科では各臓器の専門医を中心にさまざまな診療科と連携し、患者さん一人ひとりに合った最善の治療法を提案し選択いただける体制を整えています。



消化器がん治療に関する詳しい内容はこちらから
<https://www.ych.or.jp/feature/gastrointestinal-cancer/>

※ご受診の際は、かかりつけ医を通じて当院「地域医療連携センター」でご予約をお取りください。

当院の特徴

- ・各臓器の専門医
- ・最新の治療
- ・他診療科との連携
- ・24時間救急体制
- ・各職種によるトータルサポート

からだにうれしい簡単&ヘルシーレシピ

冬野菜を使ったお餅ピザ

栄養管理課 今福 実加



お正月に残ってしまったお餅を使った簡単アレンジレシピをご紹介します。旬の野菜をお餅の上にのせて焼くだけの簡単な和風レシピとなっているので、ぜひ作ってみてください。



材 料 2人分

お餅…4個 蓮根…50g 里芋…2個 ブロッコリー…1/4株
かまぼこ…2本 ケチャップ…大さじ2 和風顆粒だし…2g
チーズ…30g

作り方

- ①お餅を1cm程度の大きさに角切りにする。
- ②蓮根や里芋、かまぼこは薄切りに、ブロッコリーは1口大に切る。
- ③フライパンに油をひき、①のお餅を弱火で両面焼く。
- ④ケチャップと顆粒だしを混ぜる。
- ⑤焼いたお餅に④を塗り、野菜を並べて、最後にチーズをのせる。
- ⑥⑤をトースターもしくはグリルで焼く。

Cooking Memo

お餅の大きさによって材料を調整してください。お餅をトースター等で焼く際は、お餅の下にアルミホイルを敷いて焼くと網にくっつかずにきれいに焼けます。また、その時の旬の野菜を使ったり、ピザソースをアレンジして変えるとお楽しみいただけます。

栄養価 1人分	
エネルギー	388kcal
たんぱく質	14.6g
脂 質	5.1g
炭水化物	64.0g
塩 分	2.0g

チャプレン室だより

老健でのチャプレン室の働き



老健でのチャプレン室の働きは、病院の「全人医療」の理念の下、「全人介護」を実践する役割を担っています。

6年前からは老健担当のチャプレンをおき、まず朝の礼拝から働きを始めています。前日に聖書と讃美歌の箇所をセットしておき礼拝に備えています。礼拝前には入所されている方々のお顔を見に行き、様子をうかがい、お声掛けやお祈りをしています。現在、コロナ禍で礼拝は事務職員がチャペルで、ほかの職員と入所者さんは放送を通して視聴しています。

毎朝の礼拝後は事務打ち合わせに参加して一日の流れを把握しておきます。週初めは最初に聖書を読み、お祈りして一週間の歩みを始めます。昼前と午後からは通所・入所者の方々をお訪ねし、新しく入所された方や継続して関わっている方々のお話を伺っています。ご希望の方には聖書の話やお祈りをさせていただいています。さらに、通所利用者さんの帰りのお見送りとお声掛け、看取りケアに入っている方々を老健職員と共に協力して見守らせていただいています。また、お話を聴いて欲しいという職員や利用者さんのご家族の相談や信仰のこと以外の個人的な相談も受けています(秘密は厳守)。なお、「聖書に親しむ会」は今はコロナ禍で控えています。



ジャパンミッション宣教部
木村 一雄

INFORMATION



敷地内の自動販売機のご紹介

患者さんの利便性向上のため、院内に複数の自動販売機を設置しています。ぜひご利用ください。

① 南出入口



② 1階 公衆電話スペース



③ 2階 2A受付横



④ 2階 レストラン入口前 【食品】



特設ページのご案内

当院では現在、以下の特設ページを公開しています。ぜひご覧ください。

- ・カテーテルアブレーション（循環器内科）
- ・低侵襲心臓手術（心臓血管外科）
- ・消化器がん治療（消化器外科）
- ・ダヴィンチ手術（泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科、消化器外科）
- ・救急診療（救急科） ※（ ）内は担当診療科



編集 後記

表紙撮影では、多職種のスタッフが連携して業務を行う総合患者支援センターを表すため、多くのスタッフが撮影に参加できる早朝より写真撮影を行いました。朝特有の陽ざしがキラキラと輝き、場所を新しくした総合患者支援センターの門出を祝ってくれているようです。2023年になり気持ちも新たに「全人医療」に努めたいと思います。

★公式Facebookからもさまざまな情報を発信しています。みなさまからの「いいね！」をお待ちしております。



宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション

淀川キリスト教病院

Yodogawa Christian Hospital

本誌についてのご意見をお待ちしています。「この記事がおもしろかった」「あの部署のことが知りたい」など、読者のみなさまの声を今後の誌面づくりの参考にしてまいります。ぜひご協力ください。淀川キリスト教病院 広報課 kouhou@ych.or.jp

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1-7-50 ☎0120-364-489

『よどきり便り』36号（2023年2月発行）発行責任者／石田 武 編集責任者／藤原 寛

※広報誌の写真撮影については、撮影直前にマスクを外す等、細心の注意をはらって撮影を行っています。また一部写真については、過去に撮影した写真やご本人に提供をお願いした写真もございます。